

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月3日

福島県知事 内堀 雅雄 殿



提出者

住 所 喜多方市字押切一丁目99番

氏 名 喜多方市水道事業

喜多方市長 遠藤 忠一

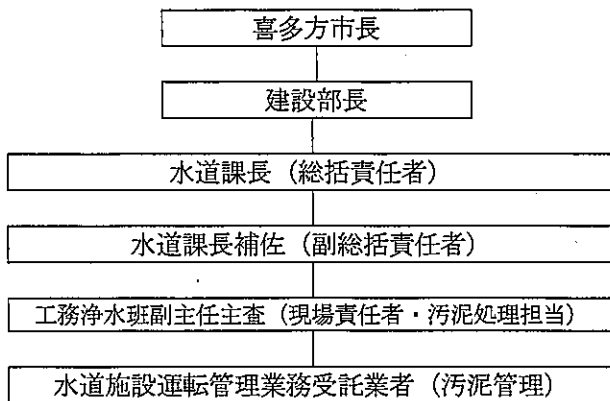
電話番号 0241-22-1562

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	喜多方市熱塩浄水場
事業場の所在地	福島県喜多方市熱塩加納町相田字上原乙789番地
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	水道事業
②事業の規模	給水人口 39,776人 配水量 54,06千 m^3 (令和6年3月末現在)
③従業員数	27人 (うち14人は委託業者) (令和6年3月末現在)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙 製造工程・産業廃棄物 (特別管理産業廃棄物) の発生工程フローシート参照

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度 (令和5年度) 実績】	
	産業廃棄物の種類	汚泥
	排出量	388,727t
	(これまでに実施した取組) 天日乾燥床6床を3床毎使用し天日乾燥の効率化、発生汚泥の減量化を図っている。	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	汚泥
	排出量	390,028t
	(今後実施する予定の取組) 原水 (日中ダム水) 濁度等水質を確認し、凝集剤等浄水薬品の注入効率を検討しながら汚泥発生量の抑制を図る。	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 浄水汚泥なので分別の必要は無い
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 予定なし

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) なし		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 予定なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	388,398 t	0 t
(これまでに実施した取組) 天日乾燥床6床を3床毎使用し天日乾燥の効率化、発生汚泥の減量化を図っている。			
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	390,028 t	0 t
(今後実施する予定の取組) 原水（日中ダム水）濁度等水質を確認し、凝集剤等浄水薬品の注入効率を検討しながら汚泥発生量の抑制を図る。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) なし		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 予定なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	全処理委託量	329.35 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成22年度までは、浄水天日乾燥汚泥（無機性汚泥）全量を中間処理業者に処理委託（造粒固化処分）し再生利用した。 ・ 原発事故後の放射能汚染問題により、中間処理業者が受入れを見合わせたため、平成23年度と24年度は仮置き保管した。 ・ 平成25年度は、当年度乾燥汚泥と平成23年度仮置汚泥を最終処分（埋立）した。 (最終処分場所：㈱商報舎二本松事業所 坊主処分場) ・ 平成26年度は、当年度乾燥汚泥を最終処分（埋立）した。 (最終処分場所：㈱商報舎二本松事業所 坊主処分場) ・ 平成27年度は、当年度乾燥汚泥と平成24年度仮置汚泥を最終処分（埋立）した。 (最終処分場所：㈱商報舎二本松事業所 坊主処分場) ・ 平成28年度から令和5年度は、当年度乾燥汚泥を最終処分（埋立）した。 (平成28から30年度、及び令和2から4年度の最終処分場所：㈱商報舎二本松事業所 坊主処分場) (令和元年度及び令和5年度最終処分場所：㈱あいづダストセンター 鶴ヶ峯管理型最終処分場) 		

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	全処理委託量	390,028 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
<p>関係機関及び他の水道事業体と情報交換しながら、受入れ可能な再生利用業者への中間処理委託も検討する。</p>			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

熱塩浄水場天日乾燥床流入排泥排水量集計表

令和4年度 天日乾燥対象 天日乾燥床流入		
沈殿池排泥量 + ろ過地洗浄排水量	沈殿池排泥量 (m ³)	沈殿池排泥量 + ろ過地洗浄排水量 (m ³)
令和2年11月	1,048	29,460
令和2年12月	1,085	35,341
令和3年1月	1,150	30,743
令和3年2月	861	31,636
令和3年3月	893	43,432
令和3年4月	904	59,216
令和3年5月	1,175	29,078
令和3年6月	1,138	28,794
令和3年7月	1,171	29,525
令和3年8月	1,170	29,169
令和3年9月	1,141	30,581
令和3年10月	1,178	29,606
合計	12,914	406,581

天日乾燥汚泥 (令和4年度処分済み)

令和5年度 天日乾燥対象 天日乾燥床流入		
沈殿池排泥量 + ろ過地洗浄排水量	沈殿池排泥量 (m ³)	沈殿池排泥量 + ろ過地洗浄排水量 (m ³)
令和3年11月	1,134	29,059
令和3年12月	1,058	33,563
令和4年1月	1,093	30,779
令和4年2月	883	27,129
令和4年3月	1,005	39,603
令和4年4月	843	55,083
令和4年5月	1,090	29,628
令和4年6月	1,323	26,770
令和4年7月	2,619	29,062
令和4年8月	3,578	30,095
令和4年9月	1,153	27,206
令和4年10月	1,188	30,750
合計	16,967	388,727

天日乾燥汚泥 (令和5年度処分済み)

令和6年度 天日乾燥対象 天日乾燥床流入		
沈殿池排泥量 + ろ過地洗浄排水量	沈殿池排泥量 (m ³)	沈殿池排泥量 + ろ過地洗浄排水量 (m ³)
令和4年11月	1,243	36,709
令和4年12月	947	32,584
令和5年1月	1,161	31,124
令和5年2月	1,044	28,999
令和5年3月	1,159	29,888
令和5年4月	974	46,698
令和5年5月	1,174	29,169
令和5年6月	1,137	28,176
令和5年7月	1,173	29,021
令和5年8月	1,226	30,366
令和5年9月	2,244	31,745
令和5年10月	2,286	35,549
合計	15,768	390,028

天日乾燥汚泥 (令和6年度処分予定)

製造工程・産業廃棄物の発生工程フローシート（喜多方市熱塩浄水場）

